

小学校 2/1 第5回 小学校クラブ活動

今年度最後のクラブ活動を行いました。今年度は、34名の講師、28名のサポートスタッフ、合計62名（のべ人数）にご協力頂きました。12月延期で2月開催でしたが、雪坂や森遊びでは雪が十分降り、午前の吹雪も止んで最高の雪を楽しむことが出来ました。

 <p>雪板 (自然体験クラブ/アクティビティ)</p> <p>講師:長尾綾さん、他</p>	 <p>森あるき (自然体験クラブ/動植物)</p> <p>講師:藤原佑輔さん</p>	 <p>バドミントン (スポーツクラブ)</p> <p>講師:佐藤大樹さん 平木達也さん</p>
 <p>カーリンコン (ゲームクラブ)</p> <p>講師:小原義広さん、他</p>	 <p>マクラメ編み (ものづくり)</p> <p>講師:斉藤千香子さん、他</p>	 <p>上名寄郷土芸能 (日本文化)</p> <p>講師:黒川仁一さん、他</p>
 <p>酪農体験 (農業)</p> <p>講師:野澤 淳さん 高橋風宇太さん</p>		

アイスクャンドル 中学生がphotoスタッフとして来場者と交流

2月10日、11日にぎわいの広場で、のべ16名の中学生がphotoスタッフとして来場者をもてなしました。しもりんとの写真撮影の声かけや、シャボン玉を吹いてきれいな写真となるようお手伝いをしました。シャボン玉の販売も行い、アイスクャンドルをより楽しめるよう活動することが出来ました。参加した中学生は、「シャボン玉は、子どもも大人も喜んでくれていた」「たくさんの人と関わることができた。インドネシアから来ている人もいた!」「写真をとって確認するときに、きれい!!と言ってきて、とても嬉しかった」など、多くの人と交流し、役に立てたと自信になった様子でした。



共 育 に ゆ ー す



■お問い合わせ
教育委員会
☎4-2511内線517
☆4-251111

2/12 第1回しもかわ地域共育フォーラム2024を開催

バスターミナルに81人が足を運び、活気あふれるフォーラムが開催されました。町外から20名、そのうち60代以上が15名と、多様な参加者に恵まれました。基調講演では、文部科学省の長田徹氏が「小規模自治体だからこそできる地域共育の意義と未来」と題し、日本の子どもは世界的に学力が高いが、勉強が将来生きて役立つと感じられていない、将来に対して不安が強いなどの調査結果を共有。様々な事例を示しながら、子どもの学びに多くの大人が関わり、声をかけていくことの大切さを伝えました。事例紹介では、地域共育ビジョン作成の経緯や取組、小中高校が連携した授業の取組、森林環境教育やキッズスクールの紹介や下川商業高校課題研究での学びを高校3年生が発表するなど、これまでの事例を共有しました。最後に、文部科学省の長田徹氏、北海道教育庁の川端香代子氏、田村町長が2030年に向けた地域共育ビジョンとアプローチと題して、パネルディスカッションを行いました。「小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化していきましょう」「大人のかっこいいところでなくていい、一生懸命な姿を見せていきましょう」と参加者に語りかけました。ワークショップでは、共育ビジョンの5つのゴールから自分のできることを話しあいました。これまでの取り組みの積み重ねを実感し、今後も地域全体で子どもたちを育てていこうと気持ちを新たにすることができました。



①長田徹氏の基調講演の様子②真剣に講演に耳を傾ける参加者③多くの参加者でにぎわう会場
④事例発表 下川商業高校3年佐藤さん「ネイルアートの楽しさ」を発表⑤パネルディスカッションの様子
⑥活発に意見を交わしあうワークショップ

感想

下川でできることを大切に。改めて子どもを育てるうえで、学校、家庭地域の大切さを知りました。

高校生の福祉ネイルが印象的でした。佐藤さんスゴイ!今後も応援していきます。

かっこいい姿ではなく、一生懸命の大人の姿を見ることが大事。